



**「じゃふお」と一緒に学ぶ交通安全!  
猛暑の中で白熱のJAF九州ロードサービス競技会も開催!**

TORIUS to BIZ Event Report vol.16



「横断歩道は、右見て左見て…もう一回右!」そんな元気な声が響いたのは、7月4日(金)のトリアスキッズガーデン。『みんなで学ぼう!まるごと交通安全イベント』が開催されました。子どもたちの“安全第一!”の学びの場に、粕屋警察署の警察官、パペットの“じゃふお”、そして猛暑にも負けないJAF隊員たちが大集合!今回は、子ども向け交通安全教室と、はたらく乗り物体験、JAFの“本気”のロードサービス競技会が同時開催!会場はまるで「交通安全フェス」。笑いあり、学びあり、汗もたっぷりありの一日でした。

### 子ども交通安全教室で 小さい頃から自分の身を守る訓練を

イベントのオープニングは粕屋警察署から地元久山町の3つの保育園、くじら保育園、久山みそら保育園、久山かじか保育園の園児の皆さんに向けて横断歩道の渡り方をやさしく指導。そのあとは、JAFのお兄さんとJAFのキャラクター“じゃふお”くんと楽しい交通安全クイズタイムです。園児の皆さんと一緒にじゃふおくんも交通安全クイズに挑戦しますが



なかなか正解が出てきません。園児さんたちも手を挙げて、次々クイズの答えを出していきます。ちゃんと、正しい答えを理解している子どもたちにじゃふおくんも、JAFのお兄さんもびっくりしていましたよ。楽しいクイズの後は、横断歩道の渡り方を実際に練習しました。そして、最後に練習していた歌の披露です。くじら保育園のおともだちが最初に歌とお遊戯を披露、そのあと、久山みそら保育園のお兄さんお姉さんたちが歌を披露しました。どちらも暑い中、元氣よく頑張って、よくできました!!

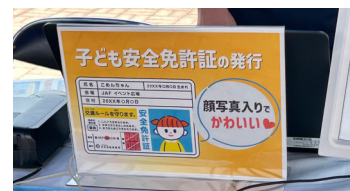


JAFのキャラクター じゃふおくん



### 交通安全の啓発活動を楽しみながら

交通安全を学んだあとは、その場で写真を撮って子ども安全免許証を作ってもらったり、JAFのロードサービスカーやネクスコ西日本のパトロールカー、福岡県警のパトカーや白バイにも触れたりしました。JAFの子ども隊員制服やネクスコの制服を着て撮影会も楽しんでいましたよ。





## 誇りをかけた真剣勝負！ ロードサービス競技会

園児たちのほほえましい企画が進むなか、隣のスペースでは汗が飛び散る熱戦が繰り広げられていました。九州各県から選ばれし精鋭7名のJAF隊員が参戦。猛暑の中、日ごろの救援技術&接客スキルを披露しました。競技は2種類、「災害現場におけるレッカー吊り上げ作業」と「レッカー車による横転車両引き起こし作業」です。各県の隊員も地元の想いを背負い、汗と技術と郷土愛の戦いです。この競技会は九州の予選会を兼ねており、10月に開催予定の決勝大会に進んだチームは富士スピードウェイで決勝を戦うことになります。最終決戦に向かって皆さん気合が入っていました。



## 交通安全の啓発活動とJAF隊員の 日頃の訓練の成果を公開

子ども向け交通安全教室は、毎月九州各地で開催されており、JAFの社会貢献活動として交通安全教育が子どもの健全育成に役立っています。また、ロードサービス競技会はクローズドで行われていたものを、2年前から一般公開して開催。JAFの隊員が日々研鑽するなかで救援技術がさらに磨かれ、利用者の皆さんに喜んでいただけることに繋がっています。



今回はトリアスが会場として利用することで、トリアスへ来場される方にも興味を持っていただけたのではないのでしょうか？全国約2080万人、九州で約230万人、まだまだ増えているJAF会員の数を見ても「子どもも大人も、安全は日々の積み重ねから」地域と共に歩むJAFの取り組みに感動しました！素晴らしいですね。

